

株主通信 特別号 『株主総会のご報告』

2002年10月 日本オラクル株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回の株主通信特別号では、8月21日に開催いたしました「第17回定時株主総会」についてご報告させていただきます。また、あわせて最近の当社の事業活動に関する情報も掲載させていただきます。

ぜひご一読いただきますようお願い申し上げます。

株主総会の概況



2002年8月21日(水)午前10時より、東京千代田区のホテルニューオータニにおいて、514名の株主様のご来場をいただき、第17回定時株主総会を開催いたしました。



議長である代表取締役社長 新宅正明より、第17期の営業報告と決議事項の内容を説明した後、質疑応答に入りました。まずは株主様からあらかじめ書面でよせられたご質問に対し、議長の新宅より回答させていただきました。その後、ご来場の株主の皆様からの質問をお受けし、延べ14名の株主様より33件のご質問をいただきました。その後、決議事項に関して決議を行い、全議案についてご承認をいただき、午後1時36分に株主総会を閉会いたしました。

主な質疑応答を本誌4ページ以降に掲載しておりますので、どうぞご覧下さい。

決議事項

- 第1号議案 第17期利益処分案承認の件
- 第2号議案 自己株式取得の件
- 第3号議案 定款一部変更の件
- 第4号議案 取締役8名選任の件
- 第5号議案 監査役1名選任の件
- 第6号議案 当社取締役および従業員に新株予約権を発行する件
- 第7号議案 会計監査人選任の件

TOPICS

自己株式取得状況のご報告

第2号議案にて決議いただきました、自己株式の取得につきましては、株主総会翌日より市場買付による取得を開始し、9月20日までに248,000株・総額9億94百万円(株主総会で決議いただいた上限株数200万株の12.4%、取得限度額100億円の9.9%)を

取得いたしました。

引き続き市場動向をみながら自己株式の取得を進め、1株当たりの価値の向上を目指してまいり所存です。また、取得状況につきましては法令等に基づき、定期的に発表してまいります。当社のホームページ(<http://www.oracle.co.jp/corp/index.html>)にも発表資料を掲載しておりますので、どうぞご覧下さい。

最近のトピックス

最近の当社の活動状況を新聞記事や調査機関の発表からピックアップしました。

2002年度の上位10社

| 順位 | 会社名 | 総合点 |
|----|---------------|------|
| ① | 任天堂 | 1000 |
| ② | 武田薬品工業 | 993 |
| ③ | ファーストリテイリング | 977 |
| ④ | セブン-イレブン・ジャパン | 940 |
| ⑤ | 山之内製薬 | 906 |
| ⑥ | 日本オラクル | 899 |
| ⑦ | NTTドコモ | 899 |
| ⑧ | サミー | 891 |
| ⑨ | ローム | 890 |
| ⑩ | ファナック | 885 |

(注) 金融、債務超過企業などを除く全国上場企業2308社が対象

日経優良企業ランキング 任天堂1位

任天堂が三年ぶり首位に。日本経済新聞社が「NEEDS-CAS」を使って二〇〇二年度の優良企業をランキング評価したところ、二〇〇二年三月期に最高益を更

新、無借金で財務体質も強い任天堂が三年ぶりに首位に返り咲いた。(関)

連続集22、23面に) 二位は武田薬品工業、前回首位のファーストリテイリングは三位に下がった。山之内製薬が五位に入るなど上位に医薬品会社が並んだほか、最高益更新を続けるセブン-イレブン・ジャパンなどが対象。二〇〇一年度決算をもとに「規模」「安全」「収益性」「成長力」の四項目で評価した。

出典
日本経済新聞
8月24日付

情報システム刷新

キヤノン販売 3年で500億円削減

キヤノン販売は約百億円を投じてグループ全体の情報システムを全面刷新する。社内基幹業務

や顧客管理、販売支湖・在庫管理などにかかわるシステムを一気に更新する。これにより二〇〇三年度から三年間で五百億円近いコスト削減効果を見込んでいる。

人材や資金、資産の活用を効率化する統合基幹業務システム(ERP)、顧客管理やサービス体制を充実する顧客情報管理(CRM)、販売製品の物流・在庫を的確に把握するサプライ・チェーン・マネジメント(SCM)などを切り替え、全く新しい情報システム基盤を整える。

日本オラクルのパッケージソフトウェアを採用し、システム構築は新日鉄ソリューションズ(東京・中央)が担当する。来年五月にキヤノン販売が新システムを稼働させる。その後グループ八社(現在の十三社を来年四月に八社へ再編)で二〇〇四年前半までに順次稼働させる。

コンパック、日本オラクルなど 企業ポータルで提携

コンパックコンピューターに散在する情報をブラウザはソフト大手との提携(東京・品川、高柳肇社長)は日本オラクル、マイクソフトと企業情報ポータル(EIP)事業つながらと市場が急拡大している。コンパックについて検証するセンタ

に散在する情報をブラウザはソフト大手との提携で主導権を握る。二社は共同で、EIPを導入する際のハードやソフトの最適な構成などを提供している。

画面からアクセスできるほか、メールやスケジュール管理もできるのが一般的だ。

コンパックは同ソフトで大手のオラクルやマイクソフトの製品を顧客企業の基本ソフト(OS)によって選択し、パソコンサーバーを組み合わせてシステムを構築する。

出典
日本経済新聞
9月16日付

出典
日本経済新聞
8月27日付

国内のデータベースソフト市場では引き続きトップシェアを維持

当社は、2002年8月末に発表されたIDC Japanの2001年データベース市場調査でシェア第1位を獲得しました。今後も拡販と市場の開拓を進めシェアの維持とさらなる向上に努めてまいります。

ハイテク系の調査会社IDC Japanの調査結果によると、国内のUNIX、Windows、LinuxといったOS(オペレーティングシステム、ご参考)を利用する、いわゆるオープン系プラットフォームにおけるデータベースソフトウェア市場は、対前年比15.3%の成長で、市場規模は785億円に達しました。構成比はUNIXが64.7%、Windowsが33.7%、Linuxが1.6%となっております。

当社はオープン系プラットフォーム全体で、61.1%のシェアを獲得し第1位、第2位のA社は13.5%、第3位のB社は10.3%となっております。Windows向け市場では当社の市場シェアは46.8%で第2位のA社の39.9%を6.9ポイント上回り第1位。Linux向け市場では67.6%と第1位を獲得し、第2位のB社の23.8%を43.8ポイント上回りました。当社は、オープン系プラットフォームの中でも成長が著しいLinuxとWindowsを中心としたIA(インテル・アーキテクチャ、ご参考)基盤のデータベースソフトウェア市場において、圧倒的な優位性を示しております。

また、UNIX向け市場では他の追随を許さない68.3%の市場シェアを獲得し、継続して第1位を維持しており、オープン系の全てのOSにおいてトップシェアを獲得しております。

【ご参考】

OS
コンピュータのシステム管理と基本的な操作環境を提供するソフトウェア。わかりやすくとえると、仕事をする場所を提供する机のようなものです。

IA(インテル・アーキテクチャ)
コンピュータの心臓部にあたるCPU(中央演算装置)に米国インテル社製の製品を使うコンピュータの総称。

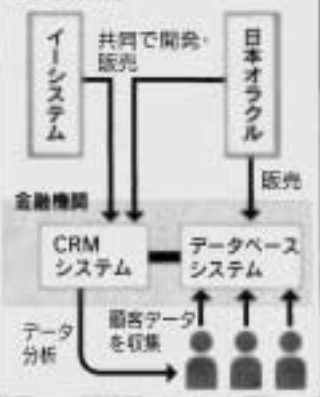
顧客情報管理(CRM)システム開発のイーシステムはデータベース管理ソフト大手の日本オラクルと提携した。両社は今秋から、金融機関向けのCRMシステムの開発や販売、コンサルティングを連携して進める。保有する大量の顧客データの有効活用を考える銀行や証券会社に売り込む。

日本オラクルと提携

イーシステム、顧客情報管理で

金融機関向けに開発・販売

イーシステムと日本オラクルの提携内容



イーシステムは銀行や証券など業種ごとにCRMシステムのひな型を開発し、システム構築時に助言・指導する。日本オラクルはデータベース管理ソフトとCRMシステムを連携させるための技術ノウハウを提供する。イーシステムは外資系

企業を中心に顧客を増やしてきたが、都市銀行など国内金融機関の顧客開拓が遅れていた。一方、日本オラクルはデータベース管理ソフトで金融機関を中心に高いシェアを持つが、顧客企業の間で蓄積データを有効活用するために機能の拡充を望む声が強まっている。

銀行など金融機関は決済を中心とした基幹システムには多額の投資をしてきたが、利用者のニーズを詳細に分析するシステムの導入は遅れている。両社はサービスマン・流通業に比べて金融分野で需要を開拓する余地は大きいとみている。初年度に十億円程度の売上高を目指す。

出典
日本経済新聞
8月26日付

株主総会 質疑応答

書面にてよせられたご質問へのご回答

Q 株主の皆様への利益還元と
株価対策に関して

A 当社株価の低迷により、株主の皆様に変なご心配をお掛けしていることに対し、誠に申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。引き続き一日も早い業績の回復に努め、株主様のご期待にお応えするよう最大の努力をする所存です。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

利益還元につきましては、本総会の第2号議案として自己株式の取得議案を提議させていただいております。本総会でご承認をいただいた場合には200万株・100億円を上限として自己株式の購入を行いたいと考えております。これにより1株当たりの価値の向上を図り、株価や市場での需給関係への好影響を期待しております。



取得した自己株式は当面金庫株として保有し、消却を含め今後の処分方法を検討いたします。金庫株のまま保有しても消却と同様に1株当たりの利益計算においては控除対象となり、1株当たり利益の向上につながります。また、ストツ

クオプションの行使時に株式の新規発行に代えて金庫株を充当することにより、新株を発行する必要がなくなるため、新株発行に比べて1株当たり利益の希薄化を防止できるという利点もあります。

配当金の増額につきましては、期間利益は積極的に株主様に還元させていただくという方針により、株主様のご期待に少しでもお応えしたいという考えに基づき、2003年5月期につきましては、配当性向を従来維持してまいりました7割超から10割程度に増加させることとし、1株当たり利益が当社の予想通り約118円前後となった場合、1株当たりの年間配当金を2002年5月期の100円から20円増の120円とすることを予定しております。

【ご参考】

1ページにてご報告のとおり、株主総会決議の翌日より自己株式の取得を開始いたしました。

自己株式の取得

自社株買いともいい、企業が自ら発行した株式を市場等から買い戻すことです。これまで会社の財産的基礎を危うくするおそれがあることから、商法で禁止されていましたが、平成6年以降の商法改正により、買い戻した株式を発行済株式から消滅させる「自社株消却」、役員や社員等に報酬として自社株式を与える「ストックオプション」等の目的に限って認められました。さらに、平成13年の商法改正により買い戻した自社株を企業がそのまま保有することができる「金庫株」制度が解禁される等、これまでの規制が抜本的に改正されました。

「自社株消却」の場合は、発行済株式が減るとともに、株主資本が減少するため、1株当たり利益

が増え、株主資本利益率が上昇し、企業の資本効率が高まることとなります。

また、「金庫株」として買い戻した株式を企業が保有している間(保有期間に制限はありません)は1株当たり利益の計算からも除外される等、消却と同じ効果を持ちます。

さらに、「代用自己株式」として、株式交換による企業買収や、ストックオプションの権利行使等、新株発行が必要な際に、新株発行に代えて保有する自己株式を使用することもできます。

Q 本年3月に実施のオラクル・コーポレーションとの代理店契約変更に伴うロイヤルティの変更について

A 今回のロイヤルティ(オラクル・コーポレーションに対する知的財産権等の使用権許諾料)の変更はサービス部門のうち、サポートサービス部門に関わるロイヤルティの適用範囲の変更です。具体的には、右図のとおり、従来ロイヤルティの対象ではなかった技術サポートに関する売上につきましても、ロイヤルティの対象とすることとなり、対象範囲が広がった結果ロイヤルティ支払額が増加することとなりました。

サポートサービス部門においては、対象製品がデータベースからビジネスアプリケーションまで広範囲にわたり、また、無停止連続運転といったシステムの運用形態の高度化に応じ、24時間365日の切れ目のないサービスを要求されるようになってきております。こうした要求にオラクル・グループとして世界的な分業体制を

構築して対応することでグループ全体の効率性を高めながら、お客様に対するサービス品質や利便性の向上を実現するための様々な投資を行っています。この結果、当社も生産性を向上させ、顧客満足度を高めることができる、というメリットを享受しており、そのメリット相応の負担をする必要があると判断し、新たにロイヤルティの対象にすることといたしました。

| 適用範囲の変更のみ | | |
|-------------|----------|-----------|
| | サポートサービス | |
| | 更新版の提供 | 技術サポート |
| 2月まで | 適用 | 適用外 |
| 3月から | 適用 | 適用 |
| ロイヤルティ料率は不変 | | |

(株主総会時の説明画面より)

なお、今回のようなロイヤルティの変更は今後もたびたび予想されるのかとのご質問ですが、ロイヤルティに関する変更は当社が日本において業務を開始して以来初めてのことです。また、このような変更は税制に関わる移転価格制度の観点から日米両国の税務当局の了解を必要としており、オラクル・コーポレーションと当社の2社間の合意のみでできることではありませんので、今回のような変更は今後頻繁に行われる性格のものではないと考えております。

Q&A

ご来場の株主の皆様からの
 主なご質問と
 それに対するお答えは
 次のとおりです。



紙面の都合上、主な質疑のみの掲載とさせていただきます。何卒ご了承下さい。

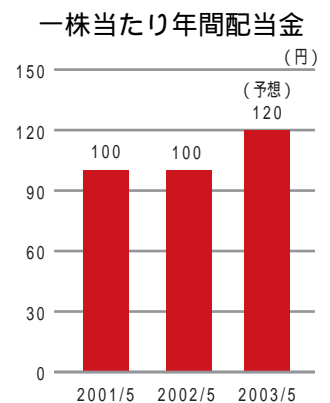
Q 株価低迷と業績未達に対する経営責任を
 どうとるのか。

株価低迷につきましては、役員一同申し訳なく
 思っており、業績を回復することで責任を果た
 してまいります。

報酬面においては業績の二度にわたる下方修正
 を行った経営執行責任として、執行役員の当期
 の報酬を最大30%下げる決定をし、役員賞与
 も昨年と比べ、10分の1とする利益処分案
 (第1号議案)を付議しております。また、役員
 の退職慰労金制度も廃止しております。今後と
 も業績の回復に向けて役員一同努力してまい
 る所存です。

Q 株式分割(無償増資)の予定は。

本年は自己株式の取得
 と配当増額の2つに対
 応させていただきまし
 た。株価対策に関して
 は株価や市場の動向を
 鑑みながら継続して対
 処してまいります。



議案に関して

Q 第2号議案(自己株式取得の件)に関し、
 自己株式取得による株主への利益と取得
 株数・取得価額の根拠を教えてください。

自己株式の取得は、流通株式数の減少による
 1株当たり利益の改善によって、株価の下支え
 の効果があると考えております。

取得金額については、2002年5月期末の現金

資産(約760億円)のうち、公開・上場時に公約しております自社ビルの取得等や事業拡大のための投資に向けた経営の自由度を確保するために必要な資金を考慮し、上限額を100億円といたしました。上限株式数については、7月16日に開催した決算取締役会前日の株価(4,910円)から、上限額に基づき、200万株といたしました。

取得方法に関しては信託機関への一任契約により市場から買い付ける予定です。取得結果については法令に従い開示する予定にしております。

【ご参考】

9月20日までの自己株式取得結果を本誌1ページに掲載しております。

Q 第6号議案(新株予約権の発行)の内容と「特に有利な条件」の意味。

今回のストックオプションの内容や条件はこれまでの3回と同じです。商法改正により、新株予約権制度が新設され、既存の株主様以外に新株予約権を無償で割り当てる場合には「特に有利な条件」との記載が必要となりました。

ストックオプションにつきましては、業績向上の意欲を持たせることが目的でございます。また、あくまでも行使権の付与であって、株式を無償で付与するものではありません。

行使価格の算定方法は招集ご通知にも記載しておりますが、発行日の前月の終値の平均、もしくは発行日の終値いずれか高い方とさせていただきます。当社の場合例年10月1日に発行しておりますので、9月の終値平均か10月1日の終値のどちらか高い方となります。また、退職した場合は原則としてその行使権を失います。これはあくまでも業績の結果実現する株主価値の向上に貢献したことに対するインセンティブとして付与しているものであるからです。

【ご参考】

商法改正により、ストックオプションは「新株予約権」という、あらかじめ定められた価格で株式の発行または移転を請求することができる権利のひとつとして扱われることになりました。そして、発行する新株予約権を既存の株主様以外に無償で割り当てる場合は「新株予約権の有利発行」となり、株主総会での決議に際しても「特に有利な条件での発行」という記載と「特に有利な条件で発行する理由」の開示を求められています(理由につきましては、招集ご通知に記載しております)。

また、「無償」の意味は、「新株予約権」という権利を無償で割り当てることであり、株式を無償で交付することではございません。実際に新株予約権を行使して株式を取得するためには、株主総会にて決議いただいた算定式により算出された行使価格を払い込んで株式を取得することが必要です。

当社業績・営業報告書の内容等に関して

Q 子会社のミラクル・リナックス株式会社の具体的な業績について。

ミラクル・リナックス株式会社の2002年5月期の業績は以下のとおりです。

| | |
|------|--------------------|
| 売上高 | 6.6億円(当社の売上高の0.8%) |
| 経常損失 | 1億円 |
| 総資産 | 3.7億円(当社の総資産の0.3%) |

現状の売上と資産状況からは当社の業績に与える影響は軽微であるため、連結対象とはしておりません。なお、今期の業績は黒字化を見込んでおります。

Q 日本オラクルの2003年5月期の売上目標・中期経営計画に関して。

2003年5月期の業績見通しは以下のとおりです。

| | |
|-----------|---------|
| 売上高 | 886億円 |
| 経常利益 | 266億円 |
| 当期利益 | 152億円 |
| 1株当たり当期利益 | 118.57円 |

2002年5月期においては、下期のサーバー(ハードウェア)の出荷額が前期比14%程度の減とみておりましたが、実際には34%減となり、データベース・テクノロジー製品の売上に大きく影響しました。データベース・テクノロジー製品については、来春頃回復の動きを期待しており、当期は前期比10.3%減とみております。

ビジネスアプリケーションは40%増以上を目指しております。サポートサービスとコンサルティングサービスは2ケタの成長とみております。

中長期の経営計画に関しては、経営環境の変化が激しいので従来は開示しておりませんでした。できるだけ早い時期に、2~3年の事業計画(中期計画)の開示を行いたいと思っております。

Q 減収減益かつ市場の見通しが暗い中で、どうやって収益を保つのか。特にソフトウェアプロダクトについて教えて欲しい。

当社の売上の90%は既存市場からによるものです。電子政府、ブロードバンド、ライフサイエンス(生命科学)の3つの新しい市場は、今後

3年間で30~50%程度伸びるとみており、これらの市場でのシェア確保に注力し、デファクト・スタンダード(業界標準)を目指します。また、当社は携帯電話市場の拡大の波に乗り事業を拡大してまいりましたが、次はブロードバンドの進展により事業機会が拡大するとみております。5年後は、今想定している新たな市場で我々のデータベースが3割程度を占めるのではないかと考えております。



Q サービスに対するロイヤルティ適用範囲の拡大が、収益減少の要因であると思う。これまでとやっていることが変わらないのに新たにかかるのが理解できない。なぜこの時期になったのかについても理由を聞きたい。

2000年にオラクル・グループでグローバルサポートセンターによるサポートを始めた際に、ヨーロッパ等当社以外の子会社ではロイヤルティの変更も実施済みでした。これまでは当社のサポートは原則として日本オラクルの人員と設備で対応しておりましたが、製品の数が増えるとともに、お客様からも24時間保守体制の要請が増えました。

全ての製品に精通した人員を24時間体制で日本オラクルだけで整えるのは非効率であり、当社もグローバルサポートセンターを利用したサポート体制に移行することとしました。日本

向けのサポートも既にグローバルサポートセンターとの協力で行っており、本年中にグローバルサポートセンターを利用する体制に完全に移行する予定です。その移行により増えるグローバルサポートセンターの負担に応分のロイヤルティを支払っております。また、書面にてよせられたご質問へのご回答の際にも申しあげたとおり、税制も関係しているため、税務当局の同意が必要となります。

Q 株式売却損の発生理由は。

損益計算書の有価証券売却損につきましては、公社債投信を基準価格の下落リスクが高まったため解約したものです。この公社債投信の中に破綻した米エンロン社の社債が入っていたため、1億400万円の売却損が発生いたしました。現在はエンロン債を含む公社債投信は所有しておりません。

Q 自社ビルの購入に関して。

自社ビルの購入は、当社の公開・上場時に調達した資金用途として公表しており、分散した事業所の統合による業務効率の向上、賃借料の削減により当社の業績の向上にも寄与すると考え、継続して検討しております。

オラクル・コーポレーションに関して

Q 米国オラクルの役員兼任者の当社での役割と、親会社の日本オラクルに対する見方はどうなのか。

取締役のデレク・ウィリアムズはオラクル・コーポレーションのエグゼクティブ・バイス・

プレジデントであり、日本を除くアジア全体の経営責任を持っており、オラクル・コーポレーションの経営会議メンバーの1人です。また、本日欠席のジェフ・ヘンリーは、最高財務責任者でございます。私どもは、彼らから取締役会で見解をもらいますし、また、彼らは当社の株主の皆様の意見を親会社に伝える役目も果たしております。

日本企業は世界中で活動しており、日本で高い市場シェアを持つということはオラクル・グループの北米、アジア、中国の事業にもよい影響を与え、当社の成長が親会社の成長にもつながるということで、親会社にとっても日本オラクルは重要な立場にあります。

また、オラクル・コーポレーションとしての日本オラクルに対する考え方につきましては、取締役のデレク・ウィリアムズより、直接皆様にお伝えさせていただきます。

取締役のデレク・ウィリアムズより通訳を介して次のとおり回答させていただきました。

株主総会に出席できて光栄です。ご質問をいただきましたので、回答させていただきます。オラクル・コーポレーションにとって、1999年から2002年は特徴のある時期で、次の3つの出来事が起こりました。1つめは、米国経済の成長と世界のサプライチェーンへの影響、2つめは2000年問題、3つめはいわゆるドットコム企業の勃興です。株は高騰、一時、S&P(スタンダードアンドプアーズ)500の36%がIT関連だったこともあります。

現在はこの3つがなくなりました。米国のNasdaq市場もここ2年半程度で株価が75%も下落し、同様にオラクル・コーポレーションの株価も下がりました。

今大事なのは企業としての基本的な強さがあるかどうかです。景気が回復基調になったら波に乗れるかどうかです。オラクル・コーポレーションと日本オラクルは企業としての基本的な

強さを持っていると思います。マーケットの回復、製品、有能な人材、有能な経営陣等が日本オラクルには重要となってくると思います。

コーポレートガバナンスについては、会計処理はオラクル・コーポレーション、日本オラクルともに厳しい監査のもとに行っており、また、オラクル・コーポレーションは第一陣で決算宣誓書を出しました。

日本オラクルの取締役として、業績不振については申し訳ないと思っております。しかし、オラクル・コーポレーションと他の株主の利害関係は同じと考えております。

Q オラクル・コーポレーションの最近の業績、ソフトウェア開発の内容、世界でのシェア、また日本オラクル独自のソフトウェア開発を行う可能性はどうか。

オラクル・コーポレーションは、2002年5月期決算では前期比減収減益となりました。全世界のデータベース管理ソフトウェア分野におけるシェアは50%程度で1位です。営業利益率は、過去最高の36.9%となりました。(右の「ご参考」を参照下さい。)

主に企業の基幹業務に使われるソフトウェアを中心とした製品開発に投資しており、毎年新製品を投入しております。

当社独自のソフトウェアの開発につきましては、当然ながら日本と米国では慣例、税制、法制度が異なるため、米国のソフトウェアをそのまま使うことはできないため、例えば日本向けの人事関連ソフトウェアは日本オラクルが主導で開発しております。

しかしながら、お客様は中国に工場を、アジアに販売拠点を、北米に生産拠点をと企業活動の世界展開を進めています。こうした企業の世界展開に1つのシステムで対応するのが非常に重要になってきます。日本だけでいいというのは、

特に大企業では通用しなくなっています。当社は世界で強い製品と国内でも強い製品を作っていきます。また、世界規模でシステム展開している企業もあるため、ソフトウェアの基盤は同一にする必要があります。

日本国内向けでは、中小規模向けのシステムについては、我々は不得意であり、競争も激しいのが現状です。しかしながら、今後は会計、人事分野のソフトウェアにおいて、世界でも通じる基盤に基づいたシステムの開発を行う予定にしております。ビジネスアプリケーションではトップ企業に対抗していきます。

【ご参考】

オラクル・コーポレーションの
2002年5月期の業績

売上高

96億米ドル（前期比11.8%減）

営業利益

35億米ドル（前期比5.5%減）

* 営業利益率は36.9%と過去最高を記録し、前期の34.5%から改善

1株当たり当期利益

0.39 米ドル

* 潜在株式の顕在化による希薄化を計算に入れた1株当たり当期利益

Q オラクル・コーポレーションは決算宣誓書を提出したのか。

オラクル・コーポレーションは期限以前の早い段階で、最高経営責任者のラリー・エリソンと最高財務責任者のジェフ・ヘンリー両名がそれぞれ署名した決算宣誓書を提出しており、過去の決算につきましても正しいことを宣誓しております。当社も含めオラクル・グループはソフトウェア産業の中ではもっとも厳しい基準で会計処理をしていると自負しております。

【ご参考】

提出された決算宣誓書はオラクル・コーポレーションのホームページあるいはU.S. Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会)のホームページでご確認いただけます。

オラクル・コーポレーション

<http://www.oracle.com/investor/>
(英語)

米国証券取引委員会

<http://www.sec.gov/rules/extra/ceocfo.htm> (英語)



Q オラクル・コーポレーションの中国進出に関する日本オラクルとしてのかかわりは。

中国の開発センターへの投資は、世界中で通用する製品の開発が目的で、オラクル・コーポレーションが主体となって実施しております。特に、日本、中国、韓国では、漢字やハングル文字といった、ダブルバイト(右の「ご参考」を参照下さい)用のソフトウェアを開発し早期に市場に投入するため、中国の深圳に開発センターを作りました。開発センターの業務には日本オラクルも深く関わっております。中国市場は日本の企業にとって重要な市場であると同時に、日本オラクルにとっても重要な市場です。日本で作るより安く中国で作れるの

であれば、中国で作れという激励と理解しております。我々もその点をご意見として賜って今後検討を進めてまいります。

【ご参考】

ダブルバイトとは

コンピュータは情報を数字の「0」と「1」を使って処理しています。この0と1を組み合わせた、情報の最小単位を「ビット」といい、文字等のデータを表現するためにはこのビットを8つ組み合わせたものが基本となっており、この8ビット分の情報を「バイト」という単位で表現します。

「1バイト(シングルバイト)」の情報では最大256種類の文字や数字を表現することができ、英語の場合はアルファベットの大文字小文字、数字を含め、通常必要な文字、数字、記号等を表現することができます。

しかしながら、日本語、中国語、韓国語のような言語の場合、到底256種類では収まりきらないため、1つの文字、数字、記号を表現するために8ビットの倍の16ビット、即ち「2バイト(ダブルバイト)」の情報量を必要とします。このため、コンピュータの世界では日本語、中国語、韓国語等はダブルバイト文字とも呼ばれます。ダブルバイトにすることで扱える文字種類は最大で65,536種類(256の2乗)まで拡大することができ、多種多様な文字を表現することができるようになります。

英語圏、いわばシングルバイトの世界で開発されたソフトウェアは、ダブルバイト文字が使えなかったり、正常に表現されない等の問題が発生することがあり、ダブルバイトの環境で使うためにはダブルバイトの文字を扱えるように修正を施す必要があります。

用語

解説

「最近のトピックス」
(P2-3)で掲載しました
新聞記事に出ている
用語の解説です。

企業情報ポータル(EIP; Enterprise Information Portal)
「ポータル」とは入口の意味で、インターネットでは利用者が最初に訪問する場所を意味し、そこには利用者が求める様々な情報が集まっています。企業情報ポータルはその企業版で、企業の社員に事業活動に関する様々な情報をブラウザ(閲覧ソフト)を使って各社員のパソコンの画面上に一覧表示するものです。

企業情報ポータルには各社員の必要に応じた情報を表示することができ、ひとつの画面からあらゆる情報を得られることから、社内外の情報を効率的に利用することができます。このため、社員の生産性の向上をはかり、企業の効率性を改善する有力な手段として今後導入する企業が増えることが見込まれています。

当社の製品では、Oracle9i Application Serverがこの企業情報ポータルを実現するための機能を提供しています。

CRM(Customer Relationship Management)

企業において顧客と接する全ての部門における、購入、利用履歴、苦情や意見等、顧客に関する様々な情報を統合管理し、共有することで、顧客に対する最適な対応を行い、企業収益を高めるための経営手法。また、その経営手法を実現するために利用する情報システムを指すこともある。当社のビジネスアプリケーションにもCRMの機能があり、すでに様々な企業で導入されています。

お願い

当社からのご案内が確実にお手許に届きますよう、転居等の際はお早めにお取引の証券会社もしくは当社の名義書換代理人であるUFJ信託銀行を通じて住所変更の手続きをお済ませ下さい。
手続方法はお取引の証券会社もしくはUFJ信託銀行へお尋ね下さい。

名義書換代理人連絡先
UFJ信託銀行 証券代行部

電話

東京 03-5683-5111 大阪 06-6229-3011 名古屋 052-211-3411

電話対応時間

月～金 9:00～17:00(土、日、祝日休)

* 届出用紙等のご請求には、24時間音声自動応答の電話番号(0120-24-4479、大阪支店証券代行部 0120-68-4479)もご利用いただけます。

当社ホームページでは、決算公告、当株主通信のバックナンバー等、株主の皆様に向けた当社の様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.oracle.co.jp/corp/index.html>

日本オラクル株式会社 ファイナンス本部 IR・企画管理部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番1号

電話 03-5213-6666 (代表)

本株主通信に含まれている内容のうち、業績予想等の歴史的事実以外の記述については、本資料の制作日において入手可能な情報から判断された、一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。